

# 株式会社みらい



代表取締役  
嶋村 茂治氏

## ◆企業の概要

企業名：株式会社みらい  
 代表者：代表取締役 嶋村 茂治  
 住所：東京都千代田区霞が関三丁目  
 2番5号 霞が関ビルディング5階  
 (多賀城工場)  
 多賀城市桜木三丁目4番1号  
 みやぎ復興パーク内  
 設立年：平成16年  
 業種：植物工場、水耕栽培装置の研究・  
 開発、農産物製造・販売業  
 資本金：351百万円  
 従業員数：51名

## ◆事業の概要

震災後の平成24年より、多賀城市みやぎ復興パーク内にLED照明を全面採用した世界最大規模を誇る人工光型植物工場を建設し、平成26年6月に稼働開始。多段栽培施設で高生産性・安定的な野菜供給を行うほか、当社が独自に開発した成分コントロール技術により、機能性に優れ、えぐみや苦みが少なく食べやすい野菜生産を可能にした。屋外の天候や環境に左右されず、レタス、グリーンリーフを含む15種類以上の野菜を1日約1万株生産及び出荷する。



本社入居ビル「霞が関ビル」



本社入口

# 被災地である多賀城市に世界最大規模の人工光型植物工場を建設、多段栽培方式で高生産性かつ安定的に機能性野菜を供給、震災復興を牽引する新しい産業として事業展開



多賀城工場（みやぎ復興パーク内）



植物工場での収穫風景



レタス



社員のみなさん

## ◆受賞の理由

世界的な人口増加による食糧不足が懸念されるなか、政府の産業競争力会議のなかで農業は「成長分野」として位置づけられており、農産物の安定した供給体制が求められている。当社は、「日本の、世界の、人類の未来をサポートしたい」を経営理念に、世界的な食物の安定供給を目指して植物工場や水耕栽培の研究開発を行い、研究成果として当社開発の工場で葉菜類、ハーブ類を中心に40種類以上の植物栽培に成功している。また、当社で野菜生産・販売するだけでなく、工場施設や栽培装置の製造・販売を行っており、国内25カ所に植物工場などを設置のほか、環境の厳しい南極の昭和基地内においても当社の技術を生かした小型の植物工場が稼働するなど実績を有している。

多賀城市に建設した人工光型植物工場は、世界最大規模のLED照明を全面採用した完全制御型の工場で、大手企業と共同開発した植物の成長に適した波長を持つ均一性・操作性に優れたLED照明を用いることで、従来より消費電力を40%削減、収穫量を50%増加させることに成功。15段というような多段の栽培ベッドを使用し、狭い空間で効率よく生産・収穫できるよう設計している。更に当社独自の栽培システム、ソフトを用い、植物の生育環境を人工的に制御して栽培することで高い生産性と安定性を得られる。また独自の成分調整により、えぐみや苦みが少なくビタミン・ミネラルが豊富に含まれるなど機能性に優れた野菜を栽培できる。こうした非常に優れた技術が国内外から多くの注目を浴びており、高い評価を得ている。

塩害や放射能被害に遭った被災地においても農業の再開が可能であることを証明し、モンゴルや香港、ロシアなどの農作不適地へのプラント輸出を展開しており、世界への貢献も大いに期待できる。

こうした施設を被災地である多賀城市に建設し、震災復興を牽引する新しい産業として展開、また、当社は自らが農業法人として野菜栽培に従事・出荷することで多くの雇用を生み出しており、地域への貢献も高く評価できる。

今後の農業分野において、世界規模の新たな可能性を生み出し、更なる飛躍が期待できる企業である。